

平成20年12月18日



冬場の製品による事故防止について（注意喚起）

本格的な冬を迎え、NITEにはこの季節に使用される製品が関係した事故の情報が多数寄せられています。

この冬（10月1日～12月9日）に寄せられた冬場の製品では、電気ストーブ（29件）、石油ストーブ（19件）、石油給湯器（19件）、ガスふろがま（16件）、石油ふろがま（11件）、ガス給湯器（11件）、電気カーペット（7件）、電気こたつ（6件）、電気毛布（4件）、石油ファンヒーター（4件）、電気ファンヒーター（4件）、電気ミニマット（小型ホットカーペット）（3件）の事故が多発しています。

また、金属製ゆたんぽの口金（キャップ）をしたまま、こんろ等で加熱したことにより、金属製ゆたんぽが破裂する事故が、過去に5件発生しています。

これらの事故防止のため注意喚起を行うことにしました。

これまでも同種事故の再発を防止するため、「身・守りハンドブック」(http://www.nite.go.jp/jiko/handbook/goshiyou_handbook.html#shohisha)、注意喚起リーフレット「冬の事故」(http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/071206_2.pdf)の配布などにより消費者の安全確保に努めてきました。

これらの製品を安全に使用していただくための注意事項とリコール等の措置が実施されている対象機器を改めてお知らせすることによって、当該機器をご使用の消費者の方々に使用中止をお願いし、早急に各社が設けている連絡先（フリーダイヤル）にご連絡をいただけるよう呼びかけることにしました。

1. 電気ストーブについて

(1) 使用時の注意事項

電気ストーブは、誤った使い方や不注意によって、火災等の事故が発生する可能性がありますので、以下の事項にご注意ください。

- ① 就寝時や外出時は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電気ストーブを点けたまま就寝し、寝返りを打った際などに布団が接触し、火災に至った事故事例があります。
- ② カーテンや新聞紙、雑誌など可燃物の近くでは使用しないでください。電気ストーブに新聞紙などが接触して着火した事故事例があります。
- ③ 洗濯物や衣類等を器具の上に吊したり、干したりしないでください。電気ストーブの上方にハンガーにタオルを掛けて乾かしていたところ、タオルが落下して燃え上がった事故事例があります。

- ④ 製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

【チェックポイント】

次の事項にひとつでも当てはまったら、使用を中止し、メーカー又は販売店にご相談ください。

- ・電源コードの取付部や電源コード、電源プラグに傷、ふくれがある。
- ・電源コードに触れたり、折り曲げると、電源が入ったり切れたりする
- ・電源コードの一部や電源プラグ、コントローラがいつもより熱い
- ・表面が部分的に変色していたり、焦げ臭いにおいがする

(2) 最近の事象事例の概要

① 平成20年11月7日（三重県）

木造2階建て集合住宅1階の玄関付近から出火した。玄関に積まれて燃えたごみの中からコンセントに接続されたままの電気ストーブが出てきたことから原因を調査中。

② 平成20年11月24日（静岡県）

集合住宅の一室から出火し、同室約13平方メートルを焼き、家人1人が死亡した。居間兼寝室のヒーター付近が激しく燃えていることから出火原因を調査中。

(3) リコール情報

平成20年12月5日までに「電気ストーブ」が原因で発生した事故等を受けて、31社からリコールが行われ、無償交換や製品回収などの措置が行われています。リコール対象製品をお持ちの方は、そのまま使い続けると発煙・発火等の危険がありますので、すぐにコンセントから電源プラグを抜いて使用を中止していただき、メーカー、販売店にご相談ください。

また、リコール対象製品でなくても、焦げ臭い、強弱の切り替えができなくなった等の異常がありましたらすぐに使用を中止していただき、メーカー、販売店にご相談ください。

詳細については（別添1）電気ストーブのリコール一覧を確認してください。

(4) リモコンによる誤作動

リモコン付き電気ストーブの誤作動については、事故情報特記ニュース「リモコン付き電気ストーブの誤作動について」（No.72）でリモコン付き電気ストーブの誤作動についてお知らせして以降、使用者の方からテスト対象製品以外にもテレビ等のリモコンによって誤作動したという情報が寄せられています。

【NITEで確認できた事例】

- ① エスケイジャパン株式会社のハロゲンヒーターSKJ-F82HRがDVDサラウンドアンプ（DENON製 ADV-1000）のリモコンの音量調整ボタン（音量プラス）

を操作すると、電源が入った。

- ② 株式会社山善のハロゲンヒーターHR-800が液晶カラーテレビ（シャープ製LC-20C3-S）のリモコンのチャンネルを操作すると、首振りをした。
- ③ 株式会社アマミ（倒産）のハロゲンヒーターHA-80HPが、カラーテレビ（ソニー製KV-DS-55）のリモコンの音量を調整（音量マイナス）すると、強・弱が切り替わった。
- ④ 松木技研株式会社のカーボンヒーターEST-KH803Rが、テレビのリモコン（三洋電機 RC-450）のチャンネルを操作すると、強・弱が切り替わったり、タイマーが誤作動した。

また、下記の各社では、それぞれのホームページにおいてリモコン誤動作に関する注意喚起等が実施されています。

○森田電工株式会社

<http://www.moritadenko.co.jp/announce/doc/b07040401.html>

○株式会社アイアン

<http://www.iron.co.jp/oshirase.html>

○株式会社シー・アイ・シー（販売元：株式会社ヤマダ電機）

<http://www.yamada-denki.jp/information/pdf/061114.pdf>

○株式会社 オーム電機

<http://www.ohm-electric.co.jp/showcase/news07/halogen.htm>

2. 石油ストーブ、石油ファンヒーターについて

(1) 使用時の注意事項

石油ストーブ、石油ファンヒーターをつけたまま給油し、カートリッジタンクのふた（ねじ式）の締め付けが不十分、あるいは、カートリッジタンクのふたが確実にしまっていないと、もれた灯油が燃焼筒にかかって引火したり、灯油とガソリンを間違えて給油すると、異常燃焼して火災を起こします。スプレー缶を温風が直接あたる所に放置すると、熱でスプレー缶内部の圧力が上がって爆発します。また、洗濯物や衣類等を器具の上に吊したり、干したりすると火災になるので、以下の事項にご注意ください。

- ① 石油ストーブ、石油ファンヒーターに給油する際は、必ず火を消してください。
- ② カートリッジタンクのふたが完全に締まっているかどうか必ず確認し、さらに給油口を下にして油もれのないことを確認してください。
- ③ 間違えてガソリンを入れてしまうと異常燃焼を起こしますので、灯油であることを確かめて給油してください。
- ④ スプレー缶を温風が直接あたる所に放置しないでください。
- ⑤ 洗濯物や衣類等を器具の上に吊したり、干したりしないでください。
- ⑥ 換気せずに使い続けると、新鮮な空気が不足し不完全燃焼を起こしますので、

窓を開けるなど換気をしてください。

- ⑦ 製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

(2) 最近の事故事例の概要

(石油ストーブ)

- ① 平成20年10月14日（富山県）

石油ストーブを使用中、家人が倒れ、一酸化炭素中毒の疑いで病院に搬送された。原因を調査中。

- ② 平成20年10月30日（新潟県）

当該製品の自動点火装置が使えなかったため、ライターで点火したところ、数分後にストーブ周辺が炎に包まれ、1名が火傷を負った。現在、原因を調査中。

- ③ 平成20年11月9日（茨城県）

木造平屋住宅から出火し、約165平方メートルを全焼した。仏間の石油ストーブ後方の障子付近から火が上がったとのことから原因を調査中。

- ④ 平成20年11月17日（愛知県）

火災が発生し、1名が死亡した。当該製品にガソリンを誤給油したことにより、異常燃焼し、火災に至ったためと考えられる。

(石油ファンヒーター)

- ① 平成20年10月17日（宮城県）

石油ファンヒーターにエラー表示が出たので修理したが、点火すると大きな音がして炎が上がる。原因を調査中。

(3) リコール情報

石油ストーブの給油時に消火をしないで、給油口を確実にロックするまで押さず、ロックの確認をおこなわなかった場合、給油口がロックされたと誤認し、取扱い中不意に給油口が開き、油がこぼれるなどして、火災に至る可能性がある不具合があったことから、リコールが行われています。

石油ファンヒーターの燃料検出センサーが故障し、その状態で運転を続けた場合、灯油を使い切る直前に温風吹出し口から瞬間的に炎が出て、すぐに運転を停止してしまう場合があると判明し、無料にて点検・部品交換が行われています。

上記の例を含め、石油ストーブ、石油ファンヒーターで現在でも事業者によるリコールが行われているものを次に示します。リコール対象製品については、直ちに使用を中止して事業者にお問い合わせください。

(石油ストーブ)

○株式会社コロナ

フリーダイヤル：0120-623-238

ホームページ：<http://www.corona.co.jp/report/oshirase.html>

<対象製品>

石油ストーブ（よごれま栓タンク）1996年～2000年（製造）

<内容>

当製品の一部において、給油時に消火をしないで、確実にロックするまで押さず、ロックの確認をおこなわなかった場合、給油口がロックされたと誤認し、取扱い中不意に給油口が開き、油がこぼれるなどして、火災に至る可能性があることが判明。

<対処方法>

無償点検・修理

○東芝テクノネットワーク株式会社、東芝コンシューママーケティング株式会社

フリーダイヤル：0120-1043-51

ホームページ：http://www.toshiba.co.jp/tcn/news/press070905_j.htm

<対象製品>

密閉式石油ストーブ（排気管はずれ検知装置付き）・石油温風ヒーター

MSPシリーズ（1機種）

MSP-322S

KSPシリーズ（30機種）

KSP-32L、KSP-32LB、KSP-32G、KSP-32G1、KSP-32GB、KSP-32GB1、KSP-32H、
KSP-32HB、KSP-32W、KSP-32WB、KSP-A37、KSP-A37B、KSP-45LD、KSP-45LD1、
KSP-45LDB、KSP-45LDB1、KSP-45CD、KSP-45CDB、KSP-45HD、KSP-45HDB、
KSP-A52D、KSP-A52DB、KSP-C52D、KSP-C52DB、KSP-70GDB、KSP-70GDB1、
KSP-80KDB、KSP-A93DB、KSP-43CD、KSP-43CDB

DSPシリーズ（15機種）

DSP-352S、DSP-502S、DSP-702S、DSP-353S、DSP-503S、DSP-703S、
DSP-1003S、DSP-322S、DSP-503B、DSP-703B、DSP-1003B、DSP-354S、
DSP-504S、DSP-704S、DSP-1004S

石油カスタムヒーター

THUシリーズ（2機種）

THU-F110P-③ THU-F110P-④

○日立アプライアンス株式会社

ホームページ：<http://kadenfan.hitachi.co.jp/heater/index.html>

（石油ファンヒーター）

○三洋電機株式会社、ユアサプライムス株式会社、日本電気ホームエレクトロニクス株式会社

石油ファンヒーターご相談窓口（三社共通窓口）

フリーダイヤル：0120-12-1381

ホームページ：<http://www.sanyo.co.jp/koho/doc/j/info/announ02.html>

<対象製品>

三洋電機株式会社

CFH-A254、CFH-305、CFH-K2605、CFH-C250B、CFH-A325、CFH-T255、

CFH-D2604、CFH-A265、CFH-W2605、CFH-G274、CFH-C2505、CFH-HA38、
CFH-H25C、CFH-C3005、CFH-K260B、CFH-D2505、CFH-T254、CFH-D3005、
CFH-255、CFH-H30C、CFH-2505、CFH-K3205

ユアサプライムス株式会社

YFH-S25J1、YFH-S25D、YFH-S24C、YFH-S25C

日本電気ホームエレクトロニクス株式会社

FH-25D、FH-25E、FH-32E

<内容>

燃料検出センサーが故障し、その状態で運転を続けた場合、灯油を使い切る直前に温風吹出し口から瞬間的に炎が出て、すぐに運転を停止してしまう場合があると判明。

<対処方法>

無料にて点検・部品交換

○日本電気ホームエレクトロニクス株式会社

ホームページ：<http://www.nehe.nec.co.jp/fan.htm>

○株式会社トヨタミ

ホームページ：<http://www.toyotomi.jp/index-top.html>

○松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）

ホームページ：

<http://panasonic.co.jp/ha/info/important/heating/index.htm>

3. 石油給湯器について

(1) 使用時の注意事項

石油給湯器の制御弁セットに使用されているOリング（パッキン）が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生する機種を所有している場合は、事業者にご連絡し改修する必要があります。その他、以下の事項にご注意ください。

- ① 排気ファンを回転させるための電源プラグがコンセントから外れていたら差し込んでください。
- ② 排気筒が外れていたり、腐食により穴が空いていたり、先端の金網が落ちていることがありますのでご確認ください。
- ③ 雪の多い地方では、吸排気筒の先端が積雪でふさがれないように注意してください。
- ④ 煙突の先端部分のまわりは囲わずにご使用ください。
- ⑤ 製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

(2) 最近の事故事例の概要

- ① 平成20年10月27日（沖縄県）
給湯を使用中に当該機器が焼損した。現在、原因を調査中。
- ② 平成20年10月30日（宮城県）

- 使用中の給湯器から異音が生じ、一部を焼損した。原因を調査中。
- ③ 平成20年11月1日（静岡県）
当該機器を使用中にボイラ室で異音が生じたので確認すると、室内に炎があがっており、当該機器や扉の一部を焼損した。現在、原因を調査中。

(3) リコール情報

株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現TOTO株式会社）及び長州産業株式会社が製造した石油直圧式給湯機（石油給湯機付ふろがま、石油給湯機）において、制御弁セットに使用されているリング（パッキン）が劣化により、硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生。この漏れた灯油に引火し、器具焼損に至る可能性があります。このため、製造事業者である上記3社では、株式会社ノーリツ、東陶機器株式会社（現TOTO株式会社）が平成14年10月から、長州産業株式会社が平成17年1月から無償改修を開始しています。

対象製品をお持ちの方は、事業者にお問い合わせください。

詳細については（別添2）石油給湯器のリコール一覧を確認してください。

4. ガスふろがまについて

(1) 使用時の注意事項

ガスふろがまは、誤った使い方や不注意によって、一酸化炭素中毒や火災等の事故が発生する可能性がありますので、以下の点に注意してください。

- ① 煙突式を使用中に、窓を閉めたままで、となりの部屋で換気扇を回すと危険です。煙突から排気が出ていかず、となりの部屋の換気扇により逆流して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。窓を開ければ、窓から空気が入って煙突から排気されます。
- ② 屋外式ふろがまを屋内や、波板等で囲った場所に設置しないでください。排気ガスが室内に流れ、一酸化炭素中毒に至るおそれがあります。
- ③ 空焚きに注意してください。浴槽に水が入っていないにもかかわらず、ふろがまのスイッチを押したため空焚き状態となり、器具が過熱し出火した事故事例があります。
- ④ 製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

【チェックポイント】

次の事項にひとつでも当てはまったら、使用を中止し、ガス機器メーカー、販売店、ガス事業者に連絡してください。

- ・使用中にたびたび火が消える
- ・炎の色が赤みを帯びて、輪郭がぼやけている
- ・機器の上部がススなどで詰まっている
- ・機器の全面の塗装が部分的に黒く変色している

(2) 最近の事故事例の概要

- ① 平成20年10月3日（大阪府）
使用中のふろがまから異臭がし、機器内部が焼損した。原因を調査中。
- ② 平成20年11月8日（埼玉県）
ガスふろがまが点火しないため点検したところ、内部が焼損していた。原因を調査中。
- ③ 平成20年11月27日（埼玉県）
使用中のガスふろがまから発煙し、カーポートの屋根の一部が変色、変形した。原因を調査中。

(3) リコール情報

最近のガスふろがまに係る社告及びリコールは下記のとおりです。

- ① 株式会社ガスターでは本年7月22日のCO中毒事故を受けて、平成2年から本年6月まで製造・販売した「寒冷地向けシャワー付きバランスふろがま(型式名；SRⅢK1、SRⅢSK1シリーズ、都市ガス用)、ブランド名；YUMEX(株式会社INAXへOEM)」の熱交換機を無償で点検、交換を行っております。また、同型機で「リンナイ」ブランド、「北海道ガス」ブランドのものも点検、交換を行っています。

対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡してください。

○株式会社ガスター（株式会社INAX含む）

フリーダイヤル：0120-670-087

ホームページ：<http://www.gastar.co.jp/>

○リンナイ株式会社

フリーダイヤル：0120-670-036

○北海道ガス株式会社

フリーダイヤル：0120-670-045

なお、本件を受けて、類似製品（型式：GBSQ-815-KR）を製造・販売している株式会社ノーリツも無償で自主点検を行っています。

○株式会社ノーリツ

フリーダイヤル：0120-244-026

- ⑤ 株式会社世田谷製作所では、平成9年から平成18年までに製造・販売した「ふろがま及びふろバーナー」の部品の一部に亀裂が入る不具合が生じ、機器内部でガス漏れが生じた場合、機器本体の焼損に至おそれがあることから、本年4月19日社告を出して、無償で点検・部品交換を行っています。また、同型機で「ハーマン」ブランド、「オカキン」ブランド、「東京ガス」ブランドのものも同様に点検・部品交換を行っています。

対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡してください。

○株式会社世田谷製作所

フリーダイヤル：0120-634-126

ホームページ：<http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp>

○株式会社ハーマン

フリーダイヤル：0120-248-772

○株式会社オカキン

フリーダイヤル：0120-581-126

○東京ガス株式会社

フリーダイヤル：0120-133-278

<対象製品>

ふろがま R38、R137、CS31B、CS32B、CS33B、FE15

ふろバーナー TA-097UET、TA-270UET、TA-OK270UET、GS-1

- ⑥ 株式会社ノーリツでは、平成元年8月から平成6年5月までに製造・販売した「ガスふろ給湯器（型式：GRQ-161シリーズ、GRQ-162シリーズ、GRQ-163シリーズ、GRQ-201シリーズ、GRQ-203シリーズ、GRQ-204シリーズ）」において、長期間使用により部品の一部に亀裂が入り、ガス漏れが生じて機器内部の焼損が発生するおそれがあることから、本年6月8日社告を出して、無償で点検・部品交換を行っています。また、同型機で「北海道ガス」ブランド、「東邦ガス」ブランド、「西部ガス」ブランド、「日立ハウステック」ブランド、「東京ガス」ブランド、「大阪ガス」ブランドのものも同様に点検・部品交換を行っています。

対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡してください。

○株式会社ノーリツ（北海道ガス株式会社、東邦ガス株式会社、西部ガス株式会社含む）

フリーダイヤル：0120-257-026

ホームページ：<http://www.noritz.co.jp>

○株式会社日立ハウステック

フリーダイヤル：0120-551-654

○東京ガス株式会社

フリーダイヤル：0120-156-004

○大阪ガス株式会社

フリーダイヤル：0120-0-948717

- ④ 株式会社ガスターでは、平成10年12月から平成16年8月までに製造し、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、リンナイ株式会社及び株式会社INA XへのOEM供給並びに当該社で販売した「シャワー付BFふろがま（型式：SR-133SDX）」の一部の機器について、「給湯・ふろガス電磁弁」の不具合から繰り返し給湯やシャワーを使用中、高温水や蒸気がでるおそれがある

ことから、平成18年12月13日社告を出して、無償で点検・部品交換を行っています。対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者に連絡してください。

- 株式会社ガスター（株式会社INAX含む）
フリーダイヤル：0120-211-871
ホームページ：<http://www.gastar.co.jp>
- リンナイ株式会社
フリーダイヤル：0120-250-711
- 東京ガス株式会社
フリーダイヤル：0120-660-416
- 大阪ガス株式会社
フリーダイヤル：0120-0-94817

5. 石油ふろがまについて

(1) 使用時の注意事項

浴槽に水が入っているか必ず確認して点火してください。特に空だき防止装置が付いていない古い機種を使用している場合は要注意です。

また、製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

(2) 最近の事故事例の概要

- ① 平成20年10月9日（滋賀県）
焦げ臭いにおいがしたため確認すると、空焚き状態で、当該機器から火が出ていた。現在、原因を調査中。
- ② 平成20年10月9日（愛知県）
当該機器のスイッチを入れたところ、異臭がし、発火した。現在、原因を調査中。
- ③ 平成20年10月11日（山形県）
ふろがまを空焚きして当該機器本体が焼損した。空焚き防止装置を備えていない当該機器に水を張らずに点火したことによる事故と思われる。

(3) リコール情報

過去に行った点検・修理の際の作業が不十分であった場合には、万一誤って浴槽に水がない状態で運転すると、空焚き防止装置が作動せず、空焚きによる本体焼損に至るおそれがあることから、無料点検を行っています。

対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店に連絡してください。

- 株式会社長府製作所
フリーダイヤル：0120-911-870
ホームページ：<http://www.chofu.co.jp/important/20070727.html>

＜対象機種＞

- ・ 石油ふろがま JK、JK2、JK-N、JPS-T3、JPK-N3、CK-8・8E、CK-9・9E、CK-10・10S、CK-11・11S
- ・ 追焚付石油給湯器 JIB-T、JIB-2T、JIB-4、JIB-5*、JIB-6*、JIB-7*
（*には英字が入る場合があります）

＜販売等期間＞

1983年（昭和58年）4月～2001年（平成13年）9月製造

6. ガス給湯器について

(1) 使用時の注意事項

ガス瞬間湯沸器は、誤った使い方や不注意によって、一酸化炭素中毒や火災等の事故が発生する可能性がありますので、以下の点に注意してください。

- ① 屋内設置式のガス瞬間湯沸器を使用するときは、必ず換気をしてください。特に開放式小型給湯器については、不完全燃焼防止装置がある場合でも、必ず窓をあけるか換気扇を回して使用してください。換気を行わずガス瞬間湯沸器を使用して一酸化炭素中毒を起こし、死に至った事故事例があります。
- ② 開放式小型ガス瞬間湯沸器は長時間使用しないでください。開放式小型ガス瞬間湯沸器から風呂や洗濯機にホースで給湯したり、シャワー・洗髪など、長時間の使用により不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒に至った事故事例があります。
- ③ 煙突があるFE式（ファンで屋外に排気する強制排気式タイプ）のガス瞬間湯沸器を使用するときは、排気ファンが廻っているか、煙突が詰まっていないか、外れていないか、穴があいていないか、外側まできちんと設置されているか、排気口、吸気口が塞がっていないか確認してください。不完全燃焼防止装置が付いていないFE式のガス瞬間湯沸器内蔵の強制排気ファンが故障して廻らなくなり、不完全燃焼による排気が室内に溢れ出たため、一酸化炭素中毒に至り、また、安全装置が不正改造され、排気ファンの作動がなくとも点火が可能な状態になっており、排気ファンが作動せず一酸化炭素中毒に至った事故事例があります。
- ④ 不完全燃焼防止装置の付いていないガス瞬間湯沸器は、ガス機器メーカー、ガス供給事業者にも早急に連絡し、不完全燃焼防止装置付のガス瞬間湯沸器に取り替えてください。
- ⑤ 製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

【チェックポイント】

次の事項にひとつでも当てはまったら、使用を中止し、ガス機器メーカー、販売店、ガス事業者にも連絡してください。

- ・ 排気ファンが作動しない
- ・ 使用中にたびたび火が消える

- ・炎の色が赤みを帯びて、輪郭がぼやけている
- ・機器の上部がススなどで詰まっている
- ・機器の全面の塗装が部分的に黒く変色している

(2) 最近の事故事例の概要

- ① 平成20年10月1日（東京都）
湯を使うと給湯器から大きな異常音がするので確認したところ、屋外式給湯暖房熱源機の内部部品（ファンモーター）の羽根の一部が破損していた。原因を調査中。
- ② 平成20年10月8日（大阪府）
ガス給湯器を使用後、点火スイッチ付近から出火して、樹脂部分が溶融落下した。原因を調査中。
- ③ 平成20年11月9日（福岡県）
ガス給湯器が点火せずに爆発して出火し、機器が焦げた。原因を調査中。

(3) リコール情報

最近のガス瞬間湯沸器に係る社告及びリコールは下記のとおりです。

- ① パロマ工業株式会社平成18年7月15日以降（経済産業省よる緊急命令は平成18年8月28日）不正改造のおそれがある7機種（PH-81F、PH-82F、PH-101F、PH-102F、PH-131F、PH-132F及びPH-161F）のFE式ガス瞬間湯沸器を無償により点検回収を行っておりますので、対象製品をお持ちの方は、型式を確認のうえ、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者にご連絡してください。

○パロマ工業株式会社

フリーダイヤル：0120-314-552

ホームページ：<http://www.paloma.co.jp>

- ② 開放式小型ガス瞬間湯沸器における不完全燃焼による一酸化炭素中毒事故の防止に関する対策の一環として、ガス機器メーカー（リンナイ株式会社、パロマ工業株式会社、株式会社ノーリツ、株式会社ハーマンプロ、松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）、日立アプライアンス等）及びガス事業者において、緊急無償点検を実施しております。開放式小型ガス瞬間湯沸器をお持ちの方は、各ガス機器メーカー、ガス事業者及びガス機器販売店にご連絡してください。
- ③ 株式会社ハーマンでは、パロマ工業株式会社製「半密閉FE式給湯器」の事故を受け調査した結果、昭和56年から昭和60年に株式会社陽栄製作所時代にブランド名「ダンポット」等で製造・販売した「半密閉FE式湯沸器」において、平成6年3月19日一酸化炭素中毒事故が発生していたことが判明したことから、平成18年8月7日社告を出して、排気ファンが作動しない等の現象があったら、使用中止などの注意喚起を行い、無償点検を行っております。対象製品をお持ちの方は、下記のフリーダイヤルか販売店、ガス事業者にご連絡してください。

○株式会社ハーマン

フリーダイヤル：0120-31-3800

ホームページ：<http://www.harman.co.jp>

<対象機器>

ブランド名：「ダンポット」「北ガス」「東邦ガス」「ほくさん」「広島ガス」
「西部ガス」

型式：S8S7、S8S8、S10S7、S10S8、S13S7、S13S8

7. 電気カーペット、電気毛布について

(1) 使用時の注意事項

電気カーペット、電気毛布は、電源コードの折り曲げや引っ張りなどによって、電源コード本体側の取付け部分に負担がかかり電源コードが半断線したり、誤った使用方法によりヒータ線が偏った状態になって局部的な過熱を起こしたり断線する等、火災等の事故が発生する可能性がありますので、以下の事項にご注意ください。

- ① 電気カーペット、電気毛布を収納する時は、電源コードを本体に巻き付けないようにしてください。
- ② 電源コードを引っ張ったり、ねじったりしないようにしてください。
- ③ 電気カーペットは座布団などの柔らかいものの上に敷かないでください
- ④ 電気カーペットの上にテーブルなどを置かないでください
- ⑤ 製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

【チェックポイント】

次の事項にひとつでも当てはまったら、使用を中止し、メーカー又は販売店にご相談ください。

- ・ 電源コードの取付部や電源コード、電源プラグに傷、ふくれがある
- ・ 電源コードに触れたり折り曲げると電源が入ったり切れたりする
- ・ 電源コードの一部や電源プラグ、コントローラがいつもより熱い
- ・ 表面が部分的に変色していたり、焦げ臭いにおいがする
- ・ 電気毛布を透かして見たり手で触ると、ヒータ線が輪状になっていたり、重なっている

(2) 最近の事故事例の概要

(電気カーペット)

- ① 平成20年11月29日（神奈川県）
電気カーペットの下に銀色のマットを敷いて使用中、温度を最大に調節した直後に発煙した。原因を調査中。
- ② 平成20年11月29日（群馬県）
使用中の電気カーペットから煙が出て、畳が焦げた。原因を調査中。

(電気毛布)

- ① 平成20年11月2日(埼玉県)
電気敷毛布のコードが断線して発火し、布団とじゅうたんの一部を焼損した。
原因を調査中。
- ② 平成20年11月13日(奈良県)
民家の一部が焼け、家人が火傷を負った。出火元付近に当該製品があった。
出火元も含め、現在、原因を調査中。
- ③ 平成20年11月27日(山形県)
木造2階建て住宅から出火して、約262平方メートルを全焼し、家人1人が熱風を吸い込みのどに軽傷を負った。1階寝室の電気毛布が火元とみて原因を調査中。

(3) リコール情報

電気回路の一部が過熱し、焦げる事故が発生。対象機種をお持ちの方は、ただちに使用を中止していただき、早急にフリーダイヤルにご連絡いただきますようお願いいたします。

(電気カーペット)

○東レ株式会社 ダンポッポお客様センター

フリーダイヤル：0120-545-115

ホームページ：<http://www.toray.co.jp/>

<対象製品>

東レ電気カーペット「ダンポッポ」「だんぽっぽ」「ほかにか」

<対象型番>

全ての型番

<販売等期間>

昭和51年～昭和58年頃

<社告等の内容>

電気回路の一部が過熱し、焦げる事故が発生。

<対処方法>

注意喚起(使用中とご連絡をお願いします。)

8. 電気こたつについて

(1) 使用時の注意事項

厚みのある座椅子をこたつの奥に押し込んで、こたつのスイッチを入れると、座いすの先端付近がヒーターユニットに接触・過熱し、座いすの張り材とクッション材を焦がすことがあります。また、電気こたつの電源コードがこたつの下敷きになった状態で使用すると、コードが半断線状態になり、スパークして出火することありますので、以下の事項にご注意ください。

- ① 電気こたつの中で衣類を乾かさないでください。
- ② 座いすや座ぶとん、上掛けなどが電気こたつ内の熱源に触れないように気を

つけてください。

- ③ 電気こたつの電源コードをこたつの下敷きになった状態で使用しないでください。
- ④ 製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

(2) 最近の事故事例の概要

- ① 平成20年11月5日（栃木県）
木造平屋住宅から出火し、約330平方メートルを全焼した。電気こたつ付近から出火していたとのことから原因を調査中。
- ② 平成20年11月8日（東京都）
使用中の電気こたつから異臭がし、火が出た。原因を調査中。
- ③ 平成20年11月14日（宮崎県）
集合住宅の一室から出火して、同室を全焼し、家人が額や足の甲に軽い火傷を負った。居間のこたつで電源をつけたまま寝ていたとのことから原因を調査中。

(3) リコール情報

電気こたつの中間コードスイッチ付コードの部品が発熱して外郭樹脂が溶解することから、下記のとおり無償交換が行われています。

○株式会社エスジーユー

フリーダイヤル 0120-009-527

<製品名及び型式>

こたつ用中間スイッチ付コード

BKM-75B/TS750 滝口木材株式会社

YK752/DX750C ワット工業有限会社

KOT-2876T/2877/2878T/2878/2879T ハギハラスリーアイ株式会社

<販売等期間>

平成16年6月～平成17年4月 販売

<社告等の内容>

不具合により、発熱して外郭樹脂が溶解することが判明した。

<対処方法>

無償で部品交換

○株式会社エスジーユー

フリーダイヤル 0120-00-9527

<製品名及び型式>

やぐらこたつ

KOT-2876T/2877/2878T/2878/2879T ハギハラスリーアイ株式会社

オリオン105 株式会社ジョイフル山新

継足こたつ6667 株式会社ディマック

ちやぶ丸814 東谷株式会社
ちやぶ台丸/オーバル 不二貿易株式会社
DX750C ワット工業有限会社

こたつユニット

NN8420/8440/8450 クレオ工業株式会社

<社告等の内容>

発熱等の不具合がごく稀に発生することが判明した。

<対処方法>

無償で部品交換（中間スイッチコード）

○ハギハラスリーアイ株式会社

フリーダイヤル 0120-011731

<製品名及び型式>

家具調こたつ

KOT-2877、KOT-2878、KOT-2876T、KOT-2878T、KOT-2879T

<社告等の内容>

一部の間接スイッチにおいて、極めて稀にスイッチ部が過熱し部分的に溶解する事が判明した。

<対処方法>

無償で部品交換（付属中間スイッチコード）

○株式会社イケヒコ・コーポレーション

フリーダイヤル：0120-53-5317

<製品名及び型式>

家具調こたつ台

「アロマ」「アオイ」「ダンカ」「アーク」「オーブ」

<社告等の内容>

使用中ごく稀に付属中間スイッチコードの中間スイッチ内部の過熱により発煙する可能性がある。

<対処方法>

無償で部品交換（付属中間スイッチコード）

9. 電気ファンヒーターについて

(1) 使用時の注意事項

電気ファンヒーターも、電気ストーブと同様に、誤った使い方や不注意によって、火災等の事故が発生する可能性がありますので、以下の事項にご注意ください。

- ① 就寝時や外出時は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電気ファンヒーターを点けたまま就寝し、寝返りを打った際などに布団が接触し、火災に至った事故事例があります。
- ② 布団やカーテンなど可燃物の近くでは使用しないでください。電気ファンヒーターに新聞紙などが接触して着火した事故事例があります。

- ③ 洗濯物や衣類等を器具の上に吊したり、干したりしないでください。電気ファンヒーターの上方にハンガーにタオルを掛けて乾かしていたところ、タオルが落下して燃え上がった事故事例があります。
- ④ 製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

(2) 最近の事故事例の概要

- ① 平成20年11月1日（東京都）
当該製品の前面部より発火し、フローリングと流し扉の一部を焼損した。現在、原因を調査中。
- ② 平成20年11月4日（東京都）
火災が発生した。火災現場に当該製品があった。消火の際に1名が火傷による軽傷を負った。出火元も含め、現在、原因を調査中。
- ③ 平成20年11月20日（福岡県）
当該製品を使用していたところ、焦げ臭いにおいにおい気づき確認すると当該製品が燃え尽きくすぶっていた。現在、原因を調査中。

10. 電気ミニマット（小型ホットカーペット）

(1) 使用時の注意事項

電気ミニマット（小型ホットカーペット）が使用中に焦げる事故等が過去5年間で20件発生しています。長年使用していると、使用方法によっては、中のヒーター線がずれ、ヒーター線が重なった部分が局所的に過熱することがありますので、以下の事項にご注意ください。

※写真は事故品の一例です。
(右の写真は製品を切り開いたものです。)



- ① ソファ、イス、座ぶとん等の柔らかいものの上で使用しないでください。ヒーター線に力が加わり、その様な状態で長年使用していると内部のヒーター線の位置がずれてヒーター線同士が重なって異常発熱し、発煙や焦げの原因になります。
- ② 異常に熱く感じたり、焦げ臭いにおいがする様な場合には、使用を中止し

てください。

- ③ マットの一部分のみが、熱くなるようであれば、使用を中止してください。
- ④ 製品に添付された取扱説明書や器具本体に表示された注意事項をよくお読みください。

(2) 最近の事故事例の概要

以下のように10数年の使用で発熱・発煙に至る事故が発生しています。

- ① 平成20年10月17日（奈良県）
電気マットをふとんの中で使用していたところ、焦げ臭いにおいがし、発煙した。原因を調査中。
- ② 平成20年11月20日（広島県）
座ぶとんの下で使用していた電気座布団の裏側が焼け、下に敷いていた敷物が焦げた。原因を調査中。
- ③ 平成20年11月26日（京都府）
使用中の電気座ぶとんから発煙し、座ぶとんと畳の一部が焼損した。原因を調査中。

(3) リコール情報

ヒーター線を固定する接着剤の不具合により、ヒーター線がずれることにより発熱・発火する可能性のあることが判明し、リコール（無償交換）が行われています。

リコール対象製品については、直ちに使用を中止して事業者にお問い合わせください。

○ワタナベ工業株式会社（製造・販売）、株式会社山善（販売）

フリーダイヤル：TEL0120-545-191 FAX：0120-797-232

ホームページ：E-mail:wsupport@watanabe-ind.co.jp

<対象製品>

ワタナベ工業株式会社 WHC-45Gのうち、製造番号がNo. 04-*****のもの

株式会社山善 YMM-455、YMM-605のうち、製造番号がNo. 04-*****のもの

11. 金属製ゆたんぽについて

(1) 使用時の注意事項

ガスこんろ、IHこんろ等で直接加熱が可能な金属製ゆたんぽで、ゆたんぽの中に入れた水を暖めるため、こんろ等で加熱をしていたところ、誤って、ゆたんぽの口金（キャップ）をしたまま加熱したことから、内圧の上昇により、金属製ゆたんぽが破裂する事故が、過去に5件発生しています。

金属製ゆたんぽが破裂する際には、加熱に使用していた燃焼器具や調理器具を破損したり、部屋の窓を割るなど、被害が発生します。以下の事項にご注意ください。

金属製ゆたんぽの事例（写真）



（注意表示の例）

- ① 金属製ゆたんぽの中の水を、こんろ等で直接加熱をする場合は、口金（キャップ）をしたまま加熱すると破裂し危険ですから、必ず口金（キャップ）を外して、加熱してください。
 - ② 金属製であっても、製品によっては必ずしも直接加熱を認めているとは限りませんので、注意表示や取扱説明書を確認してください。
 - ③ 高温のお湯を扱う製品ですので、安全に使用するためには、表示や取扱説明書を読み、加熱方法だけではなく、低温やけどの防止方法などについてもよく理解して、正しい方法でお使いください。
- (2) 最近の事故事例の概要
- ① 平成19年1月3日（北海道）
ゆたんぽのふたをしたままガスこんろにかけ寝込んでしまったところ、破裂してアパートの部屋の窓ガラスが割れた。
 - ② 平成19年12月6日（兵庫県）、平成20年1月5日（福井県）
口金をはずさずに電磁調理器でゆたんぽを暖めていたところ、破裂して調理器などが破損した。
 - ③ 平成20年1月27日（長野県）
ゆたんぽのふたをしたまま石油ストーブの上に乗せて加熱し放置していたところ、破裂してガラス、引き戸、テレビなどが破損した。

（本件に関する問い合わせ先）

生活・福祉技術センター 製品安全企画課

担当者：長田、小田

電話：06-6942-1113